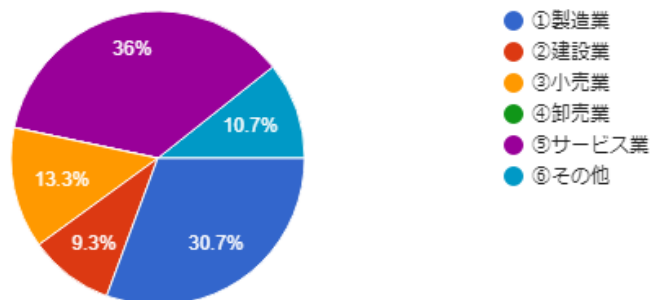


平成 30 年度 定点景況調査【7 月分】

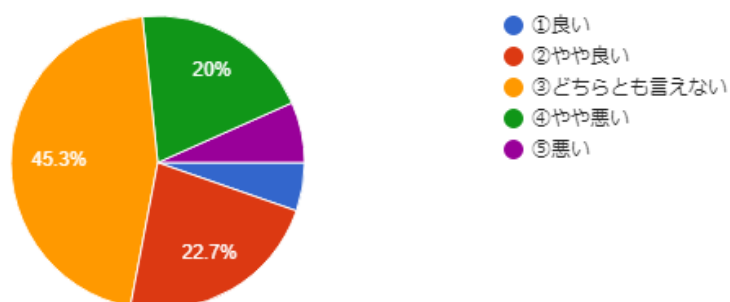
業種

75 件の回答



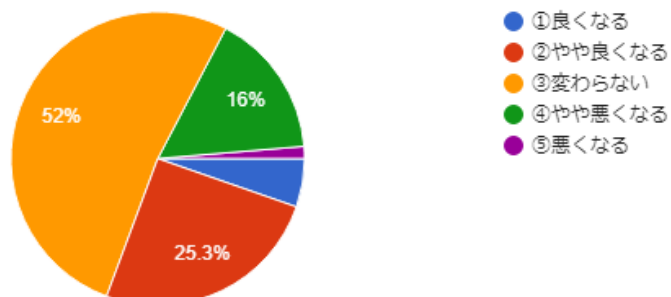
1. 今月の景気

75 件の回答



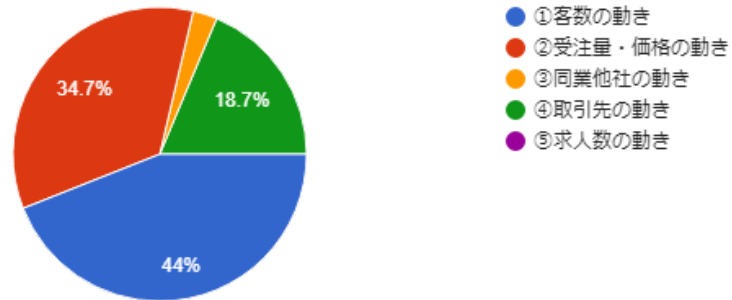
2. 今後 2 ～ 3 カ月先は良くなると思うか

75 件の回答



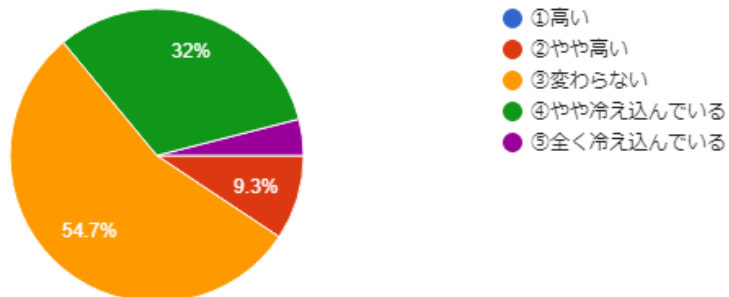
上記1、2のようになると思われたのはなぜか

75件の回答



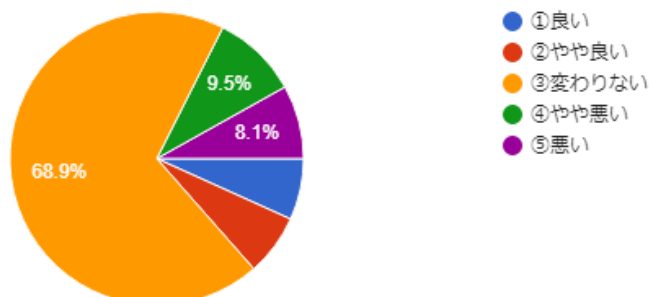
4. 周り（自身を含め）の消費意欲

75件の回答



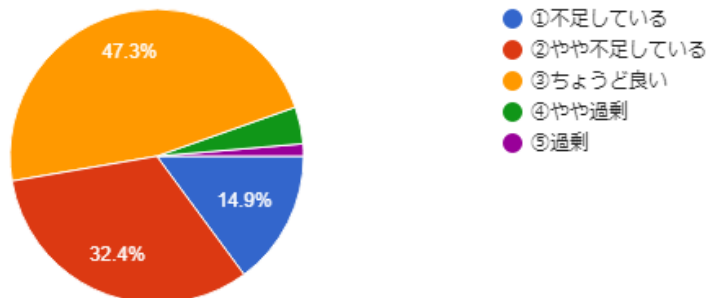
5. 自社の資金繰りは順調と思われるか

74件の回答



6. 自社の従業員の過不足感

74 件の回答



7. 自社の経営上の問題点や困っていること等 47 件の回答

学校関係の受注が増加したが、従業員は不足気味(木工業)

原材料の価格高騰(木材加工業)

7 月期は例年受注が増加するが、材料費上昇分転嫁できず利益率が低い(金属加工業)

売上高は前年同月比 16%減(小売商組合)

受注は上昇気味(金属加工業)

受注引合の鈍さがある。人材は定年再雇用で対応中だが、良い新人・旧卒を採用していきたい。(印刷業)

働き方改革についての政府見解と地方建設業者の感じ方のギャップがある。これに対応するための様々な問題が的を絞れない。(建設業)

取引先の動きは順調(機械製造業)

新規ユーザーが獲れない。車だけでなく保険契約も競争が激しい。事業もあと数年の見通し、徐々に縮小していきたい(自動車整備業)

公共事業の発注標準化と言われているが、絶対量が少ないので各社に行き渡らない。昨年と比べて民間発注量も少なく厳しい状況(建設業)

受注量が減り売上減少気味(建築設計業)

同業者もあまり変化はない様子(建築業)

受注量が増えたが材料費が上昇している(木工業)

取引先の動きが悪い(木工業)

受注量が増加(建設業)

西日本豪雨による影響が一部企業にでている。発注済みの材料の入荷が遅れている。材料そのものが手に入らないのと、手に入るが物流が寸断されて届かない等の両要因がある(印刷業)

受注が増加したが仕入単価も上昇している。受注増加も継続するか不透明であり、設備投資には慎重。人手不足が慢性化、技術者承継が課題(金属加工業)

取引先の業種により、発注量に若干の変動が出ている(金属加工業)

昨年比で客数変化が少ない。酷暑にもかかわらず来店いただいている。労働に対する考え方の変化が必要。スタッフが辞めることに対して危機管理が必要。(養蜂業)

夏季賞与時期だが客数の動きが悪い。人材不足、業界の先行き不安。(タクシー業)

受注は横ばい燃料の供給量に変化なし。(運送事業組合)

契約が落ち着いてきた(生保業)

客数の動きに変化がない(不動産業)

受注は好調(システムサポート業)

生徒数が増加していない(学習塾)

客数が増加してきた(司法書士)

客数・受注とも低調(印刷業)

秋の第二出荷を迎えるため取引先が動き出した。地方のホームセンターでも園芸関連の売場は年々狭くなってきている。それに伴い納品量も減少しているが、輸入原料は高騰続きで収益が低くなっている。6月にオープンした大型ホームセンターの客足が少ない。(園芸用土製造業)

例年より暑さが厳しく商品の痛みも多く管理が大変。ネット通販と価格比較されがちであるが、実際に現物を見れば買ってもらえることが多い。飛びぬけた高額商品が売れることは少なくなったが、希少種の問い合わせは依然として多い。(草花生産販売業)

出荷作物が増えるため先行き明るい。単一商品ながらもコンスタントに売れている。新規商談が増加。都心部のスーパーや百貨店から地域の農作物を求める動きは高まっている。併せてトレーサビリティ視点での商品選択も強まっている(農業法人)

海外向け商品の受注が好調。輸出の増加と国内における新規事業(土リサイクル)のため、新たに倉庫建設(2,000坪)を予定。BK・政府系金融機関とも設備投資の融資には積極的で金利も1%以下での話がほとんど(園芸用土製造業)

出荷は9月までゼロ。当初計画していた売上に届かず資金繰りが厳しかった。都内のイベントに初めて出店した。消費者と直接対話でき嗜好や市場を知ることができた(トマト生産農家)

量は多くないものの春から安定した出荷が続いていたが、秋口から受注はやや少なくなる。注文が多品種化の傾向。最近になり海外向け製品の商談も増えてきているが、現在のところ輸出予定はなし(園芸用土製造業)

秋口に向け受注は増えてきているが、原料価格の高騰が止まらない。秋の出荷シーズンを迎えるためパート雇入れをしたいが、原料分の価格転嫁が厳しく雇える状況でない。原料は今後も上昇していく見込みであり、早急に国産原料へシフトしたいが、依然として放射能基準値等の問題があり使用できない(園芸用土製造業)

下請けではあるが公共工事の受注がコンスタントに入り忙しかった。9月以降は例年より少なめ。夏休み期間、学校関連の単発的な受注が見込まれるが単価は低くなる一方(電気工事業)

受注は増加見込みだが、利益率が低い(製造業)

受注は10%増加見込み。オリンピックに向けての大型バス部品の特需は落ち着いた。(自動車部品製造業)

受注は変わらない(金属加工業)

従業員不足が慢性化、募集しても来ない。8月の受注は低迷、9月以降に学校関係が若干増加(旅客バス運送業)

年々契約数が減少している。(新聞店)

酷暑により来店者が減少。ネット購入する人も増え厳しい状況(薬局)

夏場は客数が減少。(茶小売業)

花市場の立ち上げ支援、または新事業(卸・仲卸)の補助を紹介してほしい(生花小売業)

7・8月はバーベキュー施設の利用客で売上増加(飲食業)

客足が鈍い、猛暑も影響している(飲食業)

客数が増加している(飲食店/焼肉)

業務効率・設備等補助金のセミナー開催希望(美容業)